

【平和宣言】

1945年3月26日。アメリカ軍が沖縄に上陸し、激しい地上戦の舞台となりました。奇しくもその年から80年たった4月、私たちは沖縄の佐喜眞美術館を訪れることができました。「戦争の悲しみを忘れず、平和の大切さを見つめる場所」、その意味を、私たちは学びました。

美術館の中にあった巨大な絵＜沖縄戦の図＞には、言葉では言い表せない悲しみと苦しみが描かれていました。爆撃の中を逃げ惑う人々、泣き叫ぶ子ども、命と尊厳を守ろうとした家族・・・。絵の前に立ったとき、私たちは歴史の中の出来事ではなく、今も続いている人間の叫びを感じました。

さらに戦争が終わった今もなお、普天間基地の周辺では多くの人が不安や不便を強いられながら暮らしている現実を知りました。戦争の影は、今もここに、確かに残っているのだと実感しました。

沖縄で起きた戦争の事実を知ることは、私たちにとって「過去」を学ぶだけでなく、「これからどう生きるか」を考える大切なきっかけになりました。

今、世界にはまだ争いや対立があります。でも私たちは信じています。言葉を交わし、心を寄せ合えば、争いを避けることはできること。だからこそ、私たちは今日、ここで誓います。

私たち1組は、過去の犠牲から学んだ戦争の恐ろしさや悲しみを後世に伝え、平和に感謝します。そして、今日からも世界中の人々に平和が訪れるように、人とのつながりを大切にし、世界中に笑顔の花を咲かせます。

私たち2組は、過去の争いによって奪われた笑顔があることを知りました。

戦争によって命を失うことのない世界を願うこと。戦争の悲惨さを忘れず未来につないでいくこと。夢や希望に満ちあふれた自分自身の道を歩むこと。これらをここに誓います。

私たち3組は、多くの犠牲者が出了たこの戦争を、二度と起こさない、起こさせないために、過去の過ちを忘れず未来に伝えます。そして、今、生きていることを当たり前に思うのではなく、一日一日を大切に過ごし、平和な世界を実現します。

私たち4組は、一度失われた自由と幸福、平和を、もう二度となくさないように、今生きるこの世界が当たり前ではないことと日々の感謝を忘れず、平和の種をまき、その種が花となるまで共に生きて見守っていくことを誓います。

私たちはここに誓います。戦争を二度と繰り返さないために、学び、考え、語り継ぎます。そして、今生きる私たちが平和のバトンをしっかりと受け取り、未来へつないでいきます。

大津市立青山中学校3年生 生徒代表